

一般質問は

質問方法

次の3通りから議員が選択します。

- ①一括質問方式(演壇で行い、3回まで可能)
- ②一問一答方式(発言席で行い、回数制限なし)
- ③1回目は演壇で一括質問、
2回目以降は発言席で一問一答方式



議長席前の演壇で行う一般質問のようす(一括質問方式)

すべての子どもが
共に学べる環境を

学校教育

問

障害の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校生活を送れる環境を整備するため、学校施設のバリアフリー化を計画的に進めるべきと考えますが、市の見解は。

答

老朽化対策や安全確保を優先した改修を進める中で、バリアフリー化を順次実施してきた。今後は学校再編との整合性を図りながら、地域や学校の実情に応じて取り組んでいく。



問

すべての子どもが希望する地域の学校で共に学べる環境を整備することは、教育行政の重要な責務ではないか。

答

教育的ニーズに応じた学びの保障は重要であり、これまで多様性を受け入れ共に学ぶ教育活動に取り組んできた。より良い教育の実現には、ソフト面の充実が不可欠なことから、今後も、共生社会の

基盤づくりを目指した学習内容・方法の実現に努めていく。
現代社会に対応した
教育の充実は

問

小中一貫教育において、英語学習を切れ目なくつなぐ取り組みについて聞きたい。

答

小中9年間を見通し、小学校での言語活動中心の学習から、中学校の授業へ円滑につながるよう、指導内容や学習課程の連続性を意識した授業づくりなどを進めている。

問

小・中学生が、金銭に関する犯罪に巻き込まれないようにすることが必要と考えるが、市の取り組みは。

答

SNS等を通じた犯罪の未然防止の観点から、5年生以上の児童・生徒を対象に、学習用端末で闇バイトクイズを実施している。不適切な情報を見分ける判断力の育成とともに、犯罪被害防止に向けた意識の醸成に努めている。

問

子どもたちがインターネット等に触れる時間の多くが家庭であることを踏まえ、保護者がメディアリテラシー※への理解を深められるような啓発に取り組めないか。

答

学校と家庭が共通理解のもとで取り組むことが重要と認識しており、保護者も参

加可能な講座や学校だよりなど、家庭でのルールづくりに関する情報提供等を行っている。今後は、情報の受け止め方や活用のあり方について、理解を深める取り組みを進めるとともに、家庭への継続的な啓発等に努めていく。

生涯学習スポーツ

子どものスポーツ環境の
充実に向けて

問

中学校の部活動改革で地域移行を進める中で、地域のスポーツ団体等の情報をどのように発信しているのか。

答

地域団体の活動情報一覧や活動場所を掲載したマップを作成し、八王子市教育情報プラットフォーム(ハプラ)などで発信するとともに、生徒へのチラシ配布やイベント等を通じて、多様な体験機会の情報提供を行っている。

問

学校と地域の連携・協力をさらに充実させ、地域でスポーツを楽しめる環境を整えてもらいたいと思うがどうか。

答

学校と地域等が連携し、部活動の地域移行を活用するとともに、子どもたちが安全に安心して遊べる場所を確

ボール遊びができる
環境への取り組みは

問

子どもの運動機会の確保等には、ボール遊びができる環境が大切と考える。身近にボール遊びができる公園がない地域解消への市の考えは。

答

設備等が整ったボール遊びができる公園は、市ホームページで公開しているほか、設備等が十分ではない公園も、周辺環境や利用状況に応じて柔軟に運用している。さまざまな課題等を踏まえ、ボール遊びができる公園が不足している地域を含め、導入可能な公園から段階的に取り組みを進めていきたいと考えている。



ルールを守り、身近な公園でボール遊びができる環境を整備

※インターネット・テレビ・新聞等の情報が流通する媒体(メディア)の特性や利用方法を理解し、適切な手段で自分の考えを他者に伝達し、メディアの情報を取捨選択して活用する能力